

小ギク電照栽培での開花揃いが優れる9月作型品種			
[要約] 9月作型において、「花絵」、「精ひとしお」、「すばる」、「はるか」の4品種は電照栽培時の採花期間が安定して短く、開花揃いに優れる。			
茨城県農業総合センター園芸研究所	令和6年度	成果 区分	技術情報

1. 背景・ねらい

小ギク経営では、特定の作業・時期における労力の集中が生産面積拡大の妨げになっていることから、機械化に適した栽培体系を確立する。ここでは一斉収穫に向く、電照栽培時の開花斉一性が優れる9月作型向け品種を明らかにする。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 9月作型において供試19品種（下記参照）では、定植から7月下旬までの電照により花芽分化・発達を抑制し発蕾日や採花日を遅らせることができ、電照反応性を有する（表1、2、一部品種のみ抜粋）。
- 2) 供試品種での電照栽培における採花期間は、自然日長時と比較して短くなる傾向があり、平均で6日前後に集約される（表1、2）。
- 3) 供試品種のうち、赤色では「花絵」、白色では「精ひとしお」、黄色では「すばる」、「はるか」は、異なる年次や消灯時期でも電照栽培時の採花期間6日以内と安定して短く、開花揃いに優れる（表1、2、一部データ省略）。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 2ヶ年通じて、19品種（「常陸オータムパール」、「常陸オータムゆうひ」、「常陸オータムレモン」、「あずさ」、「かれん」、「しずか」、「せせらぎ」、「花絵」、「わかさ」、「精あきさめ」、「精はちす」、「精ひとしお」、「精やすらぎ」、「精りゅうこ」の14品種のほか、8月作型親株床より「すばる」、「はるか」、「精しらいと」、「精そよかぜ」、「精ちぐさ」の5品種）を供試した。
- 2) 本成果は、穂冷蔵処理を行った挿し穂から栽培した結果である。
- 3) 令和5・6年は、気象庁地点データ（笠間）において、7月から9月の平均気温が平年を2℃程度上回り、県内の9月作型で開花遅延が発生した。
- 4) 一部の供試品種（「精ちぐさ（8月）」、「精ひとしお」、「精そよかぜ（8月）」）では7月下旬の消灯日時時点で花芽分化・発達を遅らせることができたものの、花芽分化が開始していた。また、「常陸オータムゆうひ」、「精はちす」、「精あきさめ」は7月下旬の消灯日時時点で、年次によっては自然日長区の花芽分化が進んでいなかった。電照により開花時期の調節を行うには、品種の電照反応性や消灯日を考慮する必要がある。

4. 具体的データ

表1 自然日長、電照栽培での発蕾日、採花日及び採花期間の比較 (R5)

品種名	自然日長区			7/25消灯区		
	発蕾日 ¹⁾ (月/日)	採花日 ²⁾ (月/日)	採花 ³⁾ 期間	発蕾日 ¹⁾ (月/日)	採花日 ²⁾ (月/日)	採花 ³⁾ 期間
花絵 (赤)	8/4	8/30	7	8/18	9/10	6
精ひとしお (白)	7/29	9/15	9	8/11	9/20	4
すばる (黄、8月)	7/11	8/5	8	8/15	9/9	6
はるか (黄、8月)	7/4	7/30	12	8/16	9/13	4
(参考)						
精はちす (赤)	8/15	9/21	6	8/23	9/22	6
かれん (赤)	8/10	9/21	8	8/24	9/25	8
精しらいと (白、8月)	7/10	8/21	13	8/14	9/17	6
せせらぎ (白)	8/9	9/15	8	8/26	9/21	4
精りゅうこ (黄)	8/17	9/17	6	8/24	9/19	5
あずさ (黄)	8/15	9/19	6	8/20	9/21	8
供試19品種平均	-	-	9.0	-	-	5.9

表2 自然日長、電照栽培での発蕾日、採花日及び採花期間の比較 (R6)

品種名	自然日長区			7/25消灯区		
	発蕾日 ¹⁾ (月/日)	採花日 ²⁾ (月/日)	採花 ³⁾ 期間	発蕾日 ¹⁾ (月/日)	採花日 ²⁾ (月/日)	採花 ³⁾ 期間
花絵 (赤)	8/3	8/31	8	8/16	9/8	4
精ひとしお (白)	8/1	9/7	8	8/12	9/18	4
すばる (黄、8月)	7/10	8/5	9	8/16	9/7	4
はるか (黄、8月)	7/8	8/4	10	8/17	9/10	6
(参考)						
精はちす (赤)	8/11	9/16	6	8/22	9/19	5
かれん (赤)	8/9	9/20	6	8/24	9/24	15
精しらいと (白、8月)	7/13	8/21	11	8/13	9/14	4
せせらぎ (白)	8/6	9/11	9	8/24	9/19	7
精りゅうこ (黄)	8/16	9/14	8	8/25	9/18	4
精やすらぎ (黄)	8/15	9/19	8	8/25	9/20	6
供試19品種平均	-	-	7.7	-	-	5.8

表1、2共通

- 1) 発生した全茎の50%の発蕾が肉眼で確認できた日とした
- 2) 「改訂版花の切り前」(1994年)に記載の“小ギク(磯の香)のステージ2”に到達した日の平均
- 3) 全体の5%採花した日から95%採花した日までの日数

※栽培概要：5/25 定植・6/1 摘心 (R5)、5/23 定植・5/30 摘心 (R6)。

株間 10cm、条間 30cm の 2 条植え、1 区 10 株 30 茎 1 連制。

電照は定植から 75W 白熱電球を用い、高さ 1.5m、幅 2.0m×1.6m の間隔で 0:00～4:00

(後夜半) の暗期中断を行った。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

小ギク経営向上のための物日需要に対する省力的栽培・出荷調整技術の開発・令和3年～令和6年度・花き研究室